

企業と学校の交流を図る 出前授業を中学校で開催

セブン-イレブン・ジャパン

2015/7/21

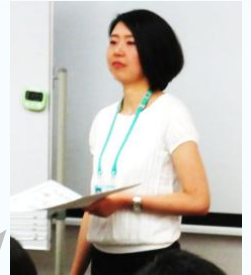
7-Eleven & AI HLDGS.

CSR アクション

セブン-イレブン・ジャパンでは、企業と学校の交流を図る「読売教育ネットワーク」の一環として、6月30日(火)に大阪学芸中等教育学校において出前授業を開催しました。

授業では、地図上の架空の町にセブン-イレブンを出店するゲームを実施。生徒達には、ゲームを通じてセブン-イレブンの社会的役割を楽しく理解していただきました。

また、現在日本で起きている社会環境の変化（少子高齢化・女性の社会進出・小売店舗の減少）を学んでいただき、生徒にとってコンビニという身近な存在から社会を考える良いきっかけにいただけたと思います。



セブン-イレブン・
ジャパン
トレーニング部
千後 嘉子

セブン-イレブンの『近くて便利』の考え方をゲームを通して紹介



生徒が出店する側となり、どんな商品をおけば良いかを、考えていただきました。

＜参加した生徒の感想＞

- ▶ 今回の出前授業で、改めてコンビニが身近にあることを感じた。これまで、当たり前のように使っていたコンビニが、実は場所によって色々な工夫がされていることを知った。これからは意識して店内を見てみようと思った。
- ▶ 「近くて便利」というキャッチコピーの意味を知り、それを実践されていることに感動しました。今回は、とても良い経験ができて良かったです。



選んだ出店場所に必要な商品・サービスとその理由をグループごとに発表